

2012年6月21日

ディケンズ・フェロウシップ日本支部

ニューズレター

去る6月16日、早稲田大学で2012年度春季大会が行われました。ディケンズ生誕200年を記念して、カリフォルニア大学バークリー校のキャサリン・ギャラガー教授を招いての大会は、多数の参加者を得て盛会裡に終わりました。素晴らしい会場を提供してくださった、梅宮先生をはじめとする早稲田大学関係の方々にはたいへんお世話になりました。厚く御礼申し上げます。

同日に行われた理事会におきましては、年報の編集、次回大会の準備といった定例議題のほか、梅理事から以下の2点に関する提案があり、議論が行われました。

(1) DFは我が国個別作家の学会でもかなり円熟の度合いを増した組織なので、今後、継続審議として、組織の民主化、透明化を念頭に、支部長、副支部長の選出にあたっては会員による選挙の導入を模索してもらいたい。

(2) 理事会の決定事項はすべて議事録というかたちで会員に周知徹底願いたい。

(1)については、そのような提案があったと記録しておくことが認められ、(2)については、理事会の決定事項をウェブ上と紙媒体のNLで報告することが確認されました。また、高校生の入会希望者について、会費を無料にすることが決定されました。

なお、現在の理事のうち、要田、武井、田中、梅、新野は年報編集、松岡、松本、佐々木は大会準備を担当しております。

秋季大会は10月20日に天理大学で行われます。天理大学図書館所蔵の貴重コレクションの展示もありますので、皆さまふるってご参加ください。

ディケンズ・フェロウシップ日本支部支部長 佐々木徹